

PD218

9-0

K

D-73-管調資-No.31

各国事情のしおり

—— パキスタン編 ——

KCA
117
20
EX
RARY

1973・6

海外技術協力事業団

国際協力事業団

受入 月日	'87. 4. 22	117
登録 No.	08490	20 EX

は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として同国に派遣されているパキスタン電気通信研究センター専門家からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣・食・住・気候・教育・公共施設・対日感情・治安等を重点に作成した。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが、本小冊子が同国に赴任する専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和48年6月

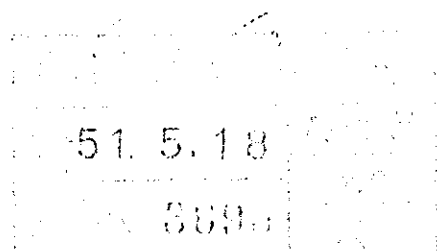
JICA LIBRARY



1060661[4]

海外技術協力事業団

理事長 田 付 景 一

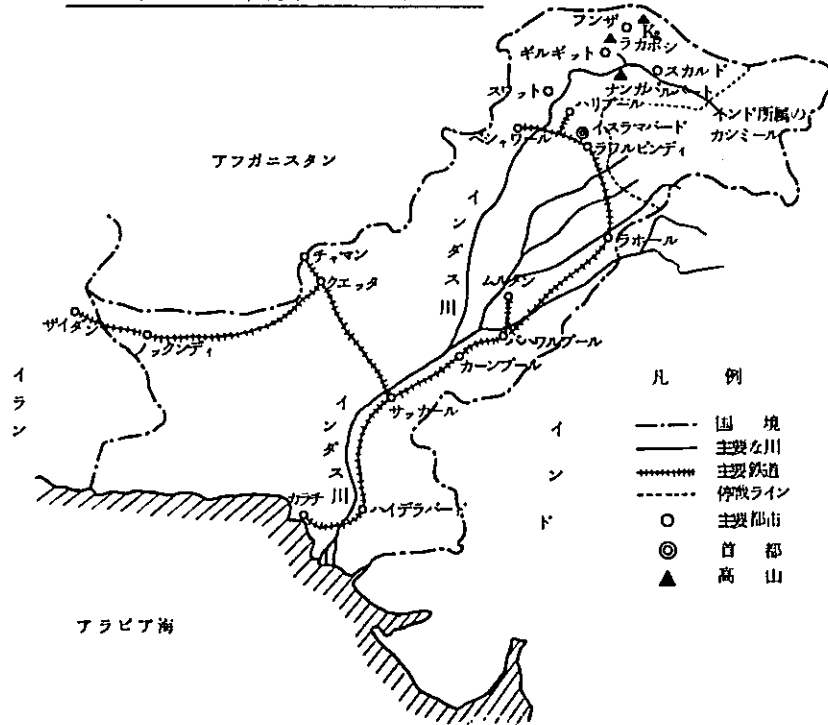


目 次

I 任 国 事 情	2
1. 住宅（住宅事情，家賃，ホテル，什器・備品）.....	2
2. 食品（食料事情，価格，外食）.....	8
3. 衣類，日用品（衣料事情，日用品）.....	12
4. 使 用 人	13
5. 医療（医療事情，医薬品，疾病の種類， 健康管理上の注意事項）.....	15
6. 子弟の教育機関（教育制度，教育機関， 授業料，日本人学校，通学方法）.....	17
7. 娯楽設備（保養地等，日本人クラブ等）.....	19
8. 電 力	21
9. 交通（交通事情，タクシー，ハイヤー，レンタ・カー， 自動車購入，運転免許）.....	21
10. 為替（相場，対日送金，滞在費等の受取方法）.....	24
11. 出入国管理（税関検査，外人登録， ビザの更新手続等）.....	25
12. 便宜供与（種類，カウンターパート等，免許特権）.....	26
13. 通信，運輸（郵便事情，運輸）.....	27
14. 言語（公用語他）.....	29
15. 気 候	29
16. 治安（一般情勢，夜間外出， 緊急時における連絡方法）.....	32
17. その他（対日感情，新聞，雑誌等，風俗・習慣， 理髪，美容，買物）.....	33

Ⅱ 同国に対する我国の技術協力実績.....	44
Ⅲ 大使館等連絡先	49

パキスタン回教共和国略図



- ☆面積 80万3,511平方キロメートル。
- ☆人口 6,489万人(1972年国勢調査)。
- ☆首都 イスラマバード。
- ☆通貨単位 パキスタン・ルピー(1U.S.\$ = Rs.9.9)。
- ☆宗教 回教。
- ☆教育 大学は一般大学5,工大1,農大1。
1972年から5年以内に義務教育開始。
- ☆公用語 現在は英語(官語の項参照)。
- ☆住民 トルコ・アリアン系,トルコ・イラニアン系,インド・アリアン系。
- ☆産 業 国民の80%は農業・牧畜,鉱工業では天然ガス,綿織物,タイヤ・チューブ,セメント,油脂,製糖など。

I 任 国 事 情

1 住 宅

1.1 ハリプール

(イ) 概 要

電気通信センターのあるハリプールは、首都イスラマバードから約55哩（道路距離）北西にある人口約1万5千の町である。町から約1哩離れて電気通信コロニーがあり、TIP (Telephone Industry of Pakistan), NRTC (National Radio Telecommunication Corporation), TSC (Telecommunication Staff Colledge), TRC (Telecommunication Research Centre)等の諸機関がある。コロニー内に公務員住宅があり、ITUやコロソプラン専門家にもこの住宅が貸与される。大抵の食糧品はハリプールの町又はコロニー内のマーケットで間に合わせることができるが、一般に質が低く、上質の肉類、冷凍食品、文房具、図書、雑貨類は得られないので、イスラマバード又はこれに隣接するラワルピンディに買出しにでかけることが必要になる。

(ロ) 住 宅

TRCのアドバイザー用としてC型、一般専門家用としてD型職員住宅が無償で貸し与えられる。

型	敷地面積	建 坪	間 取
C	約 2,700m ²	約 190m ²	リビングダイニング, 2ベッドルーム, ゲストルーム キッチン, 食品庫, バスルーム
D	800	120	リビングダイニング, 2ベッドルーム, ゲストルーム, スタディールーム, キッチン, 食品庫, バスルーム

㊦) 什器、備品

① 食器類

日本的な湯呑、碗、箸類はパキスタンでは得られないが、ガラスコップは外国品が市販されている。ティーカップ、コーヒーカップはmade in chinaが出廻っており、質は落ちるがかなり使える。その他のものはナイフ、フォーク、スプーン等を含めて日本から持参した方がよい。

② 調理器具

電気製品は輸入税の関係で高くなるので、日本で買って Personal Effect として持込むのが得策である。電気釜、電熱器、トースター、電気魚焼器、電気オーブン、ジュースー、ミキサー等必要である。挽き肉器は多少ごついがパキスタン製が使える。包丁類、鍋類、炊事用石油コンロはパキスタンで調達できるが、形や質が悪かったり、火加減の調整が良くなかったりするのので、一通り持参した方がよい。

③ 電気製品、暖房器、家具

品名	説名
扇風機	各室の天井に取りつけられているが、その他にも必要である。
洗濯機	洗濯人を雇う場合もあるが、大抵は自分達で洗濯をしたくなる。
石油ストーブ	パキスタン製はない。反射型で、大きなものが良い。
電気ストーブ	市販品を使ってもよいが、多少質が落ちる。値段は安い。

品 名	説 明
テ レ ビ	画像は鮮明に映る。CCIR 625本方式。持参した方がよい。
ステレオ テープレコーダ	他に娯楽がないので必要。
レ コ ー ド テ ー プ	レコードはパキスタン音楽のみ。録音されたテープも、カラチ以外では見当らない。
短 波 ラ ジ オ	日本語放送傍受用。ソニーTR-2,000級で間に合う。玉子碁子等も必要である。
太 陽 温 水 器 ジ ー ズ ヒ ー タ 揚 水 ポ ン プ	風呂の湯沸し用。 温水器はビニール袋状のもの。 ヒータは3KW。
その他有用物品	ミシン、電気オルガン、スポーツ用品、娯楽用品、手芸用品、小供の勉強用・娯楽用書籍、小供の遊び道具、若干の室内装飾品、アイスボックス、アイスノン、電気掃除機。

④ 備 品

職員住宅には下記物品が設備されている。調理台、食卓（椅子付）、食器棚、応接セット、机、各種テーブル類、洋服ダンス、鏡台、各種椅子類、ベッド、クロスカーペット、カーテン。

ただし、年代がたっているので自分で修理したり、取替えたりしなければならないものもある。

⑤ 入居当初必要とする経費

上記各種物品を日本から持ち込み、荷物が着くまでの間、

身の周りに必要なものだけ整えるとすれば、大体下記の通り。

品名	価格(ルピー)
蒲団, シーツ, 毛布, 枕, ベッドカバー (1人分)	300
食器類	500
調理道具	500
カーペット, カーテン取替	500
雑費	1,000

4人家族として、大体4,000ルピー程度で間に合う。ただし、前任者がいる場合は早目に譲渡品目について話し合うこと。

1.2 イスラマバード(首都)

(1) 住宅事情

① エージェントの有無

エージェントはなく、貸家札のある家を探したり、現地人から紹介されたり、前任者のあとへ入ったりしている。

② 入手の難易度

イスラマバードは新首都で、目下建設中の都市であるため、希望の間取りや間数、希望の設備のある家を探すことは難しい。小家族向けの小じんまりした家と云うのはなく、止むを得ず大きな家を借りて住むことになる。マンションや独身者用アパートと云ったものはない。独身者は隣町のラワルピンディのホテル住まいか、大きな家を借りるかの選択に迫られる。

③ 賃借方法

正式に契約書を交わして契約するのが普通である。この際現地人の立合証人2人を立てる慣習がある。家賃2年分先払いが慣行となっており、大金を一時払いする必要がある。しかし漸次緩和の傾向にあり、1年半乃至1年の先払い契約もあらわれ始めている。

(ロ) 家賃の例(月額)

間 数	家賃(ルピー)
寝室4, 書斎, 応接, 食堂各1の計7室	2,500 ~ 3,000
寝室3, 書斎, 応接, 食堂各1の計6室	2,000 ~ 2,500
寝室3, 応接室, 食堂各1の計5室	1,500 ~ 2,000

ただし、冷暖房の設備なし。

(ハ) ホ テ ル

カラチやイスラマバードなど場所によって異なるが、インタコンチネンタルホテルでは下記の料金でサービスしている。ただし食費は一切含まない契約である。

サービスチャージ, 税入 (単位 ルピー)

室別 期間	シ ン グ ル	ダ ブ ル
短期(日)	150 ~ 230	200 ~ 300
長期(月)	2,000 ~ 3,000	2,600 ~ 4,000

(二) 什器、備品

① 携帯を必要とする食器類等

ハリプールの場合と同じ。

② 入居時必要な経費

電気製品や必要物品を日本から持ち込むとして、凡そ
1,000～1,500アメリカドルが必要とされる。

主要物品の価格は下記の通り。

品名	価格(ルピー)
ベッド(ダブル, ベッドサイド ランプ及びテーブル付)	1,000～1,400
応接セット(5人用テーブル付)	1,000～1,800
食卓(6人用, 椅子付)	800～1,200
書斎机(椅子付)	350～600
食器棚	500～1,200
洋服ダンス	500～1,500
カーペット	上質(4×6 ft ²) 1,000～3,000 中質(1×1 ft ²) 5～10 布製(10×12 ft ²) 120～200
カーテン(1 m)	10以上

③ その他

a 木製家具, ソファなど既製品が少ないので, 規格を指示
して作らせるので, 約1ヶ月位かかる。

b カーペット, カーテンは家が広いので, 予想外に金がか
かる。

- c コロンボプランやITUの専門家は政府が民間から借上げて、無償で貸し与えてくれるので、ハリプール並みの住宅や備品は期待できる。

2 食 品

(1) 食料事情

食糧は買出しにでかければ、ハリプールもイスラマバードも同じ条件である。

① 一般的食糧事情

食品類は一般に種類が多く、豊富で値段も安いですが、物によっては日本のものと質が異なり、又季節物などは一般に保存がきかず、野菜など端境期には苦勞することがある。

② 主 食

米、小麦等は豊富である。パキスタン製のパンは味が悪いので、ドライイーストを買って来て、パンを焼いている。

現地人は小麦ととうもろこしの粉をお好み焼きの様に焼き上げたチャパティを喰べている。

③ 野 菜 類

日本にあるものは殆どこゝでも採れるが、白菜、ごぼう、蓮根、しいたけ類などはない。

④ 肉 類

牛肉、マトン、チキン等は良いものが手に入る。

イスラムの戒律の厳しい国なので、豚肉やハムはない。牛乳は水牛の乳で、なれるとおいしい。

⑤ 果 物 類

マルタ（甘い夏みかんの様なもの）、キノ（強い甘味のみ

かんの様なもの), ガルマ(めろんの味がする大きな瓜), 西瓜, バナナ, マンゴ, リンゴ, ぶどう等がある。

⑥ 魚 類

カラチは港なので、魚は不自由しない。イスラマバードは内陸のため乏しいので、カラチから送られてくる冷凍魚を利用している。シュリンプ、舌平目、ホワイトサーモン、キングフィッシュ等がある。

⑦ 日本食品

カラチ以外の所では皆無である。

⑧ 水

ハリプールは地下250mからの地下水、イスラマバードは市の水道を利用している。ハリプールでは石灰分が多く、イスラマバードでは細菌に対する配慮から、いずれも一旦煮沸している。石灰分は煮沸して冷却すると容器に付着して析出する。ミネラルウォーターを外国から取り寄せている人も稀にはある。

⑨ 燃 料

イスラマバードやカラチではパキスタンの天然ガスが利用できる。ハリプールでは燈油及び電熱を使っている。天然ガスのボンベはない。

⑩ 調 味 料

本場のカレー、多種多様な香辛料が安く手に入る。インド料理の好きな人は楽しめる。

塩、コーンオイル、酢、紅茶等マーケットで得られる。

⑪ 酒, タバコ類

アルコール類はイスラム国なので、一般に飲む習慣がない

が、外人用に売っており、スコッチウイスキーが日本国内と同程度の値段で買える。ビール、タバコはパキスタン製があるが、味はかなり落ちる。

⑫ 中華料理店

都会地には必ず大きな中華料理店が何軒もあり、値段も安く、味も悪くはない。

(ロ) 価 格 1米ドル=Rs. 9.9 (1973年4月)

品 名	単 位	価 格 (ルピー)
米	1 Kg	2 ~ 3
小麦粉	1 Kg	1
食パン	1 人分	0.5 ~ 1
牛肉・羊肉	1/2 Kg	3 ~ 5 (上質冷凍8)
鶏肉	1 羽	8 ~ 15 (上質冷凍10~20)
卵	1 ダース	3 ~ 5
牛乳(水牛)	1 ℓ	4
冷凍魚	1/2 Kg	3 ~ 6
(舌平目, ホワイト サーモン, キングフ イッシュ等)		
冷凍シュリンプ	1/2 Kg	10 ~ 20
鮭缶(パキスタン製)	1 ケ	12
馬鈴薯	1 Kg	0.5 ~ 1
キャベツ	1 ケ	0.7 ~ 2
人参	1 Kg	0.5 ~ 1
トマト	1 Kg	2 ~ 4
きゅうり	1 Kg	1 ~ 2
大根	1 Kg	0.5 ~ 1

品 名	単 位	価 格 (ルピー)
玉 ね ぎ	1 Kg	1 ~ 1.5
ほ う れ ん 草	1 Kg	0.5 ~ 1
コ ー ン オ イ ル	5 Kg	2 6
食 用 酢	1 本	5
清 涼 飲 料 (コカコーラ, フェン タ, セブンアップ等)	1 本	0.6 ~ 1
煙 草	1 箱	2 ~ 5

(イ) 外 食

洋食店や中華料理店が利用でき、軽食で10~20ルピー、少しデラックスな夕食でも20~40ルピー程度あれば満足できる。ただし酒類は高級ホテルだけしかサービスせず、値段の方もぐっと高くなる。

(ロ) 携行すべき調味料等

日本的なものは皆無であるから、心がけて携行のこと。醤油、みそ、梅干、味の素、のり、しいたけ、わかめ、昆布、もち米、乾めん類、日本カレー、インスタントラーメン類、せんべい、プロトン豆腐(変質し易いので空送の要あり)、日本的な缶詰類(沢庵、奈良漬、蒟、ごぼう等)。

ただし、醤油は約1年、みそは約半年、インスタントラーメン類は約3ヶ月で変質し始めるから注意のこと。なくなれば伊勢丹や三越が海外販売サービスをしているので、取り寄せることができる。キッコーマン醤油はコペンハーゲンからも輸入できる。(12.イ)項参照)

3 衣料および日用品

(1) 衣料事情

① 一般的衣料事情（価格，特に不足の品）

パキスタンの綿花はかなり有名であり，織物工業も盛んなので，綿製品は豊富で安い。英国や日本から輸入された生地も多い。しかし織物技術はあまりよくなく，夏物下着なども厚地のものになってしまうし，洋服や婦人服も仕立てが悪い。ことに婦人用については衣生活が日本と全然異なるので，靴下などの輸入品を時折見かけるが，必要なものは全部用意して来て，特に不足になったものだけ現地で調達したり，布地を買って自分で縫ったりした方がよい。

② 必要とする衣類（気候，公式普段等の別による衣生活）

冬は摂氏零度以下になることはないが，空気が乾くこと，ハリプールでは住宅の構造上室温が上りにくいことのため，寒く感じられる。東京の冬並みと考えて準備したらよいが，厚手のオーバーコート等は不要で，トレンチコートかスプリングコートでよい。

夏の期間が長いので，夏物下着類は多少余計に必要であり，又春秋の期間は短いが合物があると便利である。雨量は少く，レインコート，雨靴はなくてもよいが，雨傘は是非あった方がよい。

男性の場合は公式の行事でも黒又は濃紺の背広でよく，特に礼服を必要とはしない。女性の場合はつき合い上和服があった方がよい。

③ 携帯すべきもの

トレンチコート，セータ，カーディガン，ワイシャツ（長

袖，半袖)，靴下，ネクタイ，下着類，婦人用パンタロン等。
靴は普段用にはパキスタン製でも間に合わせることができる。

(ロ) 日用品，特に高価なもの又は入手困難なもの

ヘアクリーム，シェービングクリーム類は多種出廻っているが，ポマード類はない。

好みの化粧品，ゴルフ道具類，マージャン牌，縦野のノート等入手は困難である。

4 使用人

① 一般事情

パキスタンは工業の発達がおくれており，雇用の機会が少く，又賃金も安いので，外人や金持は各種の使用人を雇うのが義務の様な慣習になっている。

② 職業紹介所の有無，具体的な雇用方法

職業紹介所はなく，勤務先の友人，知人，地元の有力者，雇業者等の紹介によっている。

③ 通常の給与金額

使用人種別	給与金額(ルピー/月)
給仕(ベアラ)	180 ~ 250
料理人(コック)	180 ~ 250
給仕兼料理人	180 ~ 250
給仕助手	125 ~ 180
守衛(チョコダール)	125 ~ 180
自動車運転手	180 ~ 300
掃除人(スィーパー)	125 ~ 180

使用人種別	給与金額(ルビー/月)
庭師(マリー)	125 ~ 180
洗濯人	125 ~ 180
子守女(アヤ)	180 ~ 250

掃除人，庭師，洗濯人，以外は原則として住込。

衣服を支給し，ボーナスを与え，医療費など援助するので，年間平均すると，約20%増となる。

④ 最低必要とする使用人の種類，人数

給仕兼料理人，庭師，夜間用守衛，掃除人各1，来客の多い家は，給仕と料理人を分け，給仕に助手をつける。又庭の広い家ではマリーを2人以上雇うこともある。逆に，チョコキダール，マリー，スィーパー等は近所で共同で雇ったり，パートタイマーにしたりする。

⑤ 雇用，解雇に際して特に注意すべき事項

以前の雇用者の証明書を持っていて，自分で売り込みにくるものもあるが，信用できないので止めておいた方が無難。知人等に紹介された場合でも1ヶ月程度試用期間をもうけるのがよい。ベアラーとして雇ったのが料理が全然だめだったり，英語が殆どできなかつたりすることがある。解雇に際しては1ヶ月分の退職金を与えるのが通例。ただしこれも地元の人を間に入れて後々問題が起きない様配慮しておく必要がある。

5 医 療

(イ) 医療事情

① 医療施設

ハリプールのコロニーには診療所があり、手術室やレントゲン設備もあり、簡単な病気はこゝで治療してもらえる。総合病院はイスラマバードに最近できた政府の Polyclinic Hospital があるし、ラウルピンディには Central Government Hospital 及び Holly Family Hospital があり、外国留学したドクターが多数働いている。

② 日本人医師の有無

日本人医師はいない。年 1 回外務省から日本人医師が派遣され、大使館員と同様に健康診断及び健康相談をやってくれる。

③ 出産の安全度

パキスタン医師ではまかせ切れない面があり、又心理的な不安感のため、帰国して出産する人が多い。

④ 歯 医 者

一応の事はできるが消毒その他の点において雑な面がある。抜歯には馴れているので、処置が困難な場合は抜歯をすることになる。出国前に必要な処置は済ませておいて赴任した方がよい。イスラマバードの総合病院には、日本に留学した歯医者がある。

(ロ) 医薬品

外国品は一応何でもある。しかし我々には名前や服用量の知識がないし、薬の保管などにも信用のおけない面があるので、使いなれた日本品を必要なだけ持ち込んだ方が無難である。こ

とに抗生物質や漢方薬は携行の要がある。

(イ) 疾病の種類

① 風土病的なもの

入国草々に外国人は下痢を起すことが多い。これを入国税と呼んでいるが、我々には免疫のない細菌と思われる。

② 特に予防注射をしておくもの

種痘，コレラは必要である。チブスや破傷風はたまに発生している。

③ その他

ハリプールには段々少くなっているが、さそりがいるから一応注意すること。マラリア，癩病は稀にうわさを聞いたり、見かけたりする程度である。

(ロ) 健康管理上の注意

a ハリプールでは、子供は家庭で学習するので、生活のリズムがくずれ勝ちであり、規則正しい生活をする事。

b 生水は飲まないこと。

c 扇風機のかげ放しは、過度に皮膚が乾いたり、風邪の原因になったりするので注意すること。

d 風邪をよく引き、又なおりにくいので、予防に注意し、引いたら早目に手当をすること。

e 定期的な寄生虫検査，駆除を行うこと。

f 風俗，生活，習慣の異なる外国人に囲まれた生活，限られた交際範囲，乏しい娯楽施設等はストレス発生の原因となるので、適当なスポーツ，娯楽，旅行などを心掛けること。又パキスタン流の考え方にペースを合せ、「インシアラー」(アラールの神のお心のまゝに)位の気持で生活すること。

- g 天然痘，コレラが一部に流行することがあり，予防注射の期限を切らさないこと。
- h 川魚は寄生虫の危険があるので，さけること。

6 子弟の教育機関

(イ) 教育制度の概要と教育機関

パキスタンは文盲率70～80%と云われていて，一方で非常に高い教育を受けて指導者となるものもいるが，ほとんどの人は教育を受けずに育つ。義務教育制度を1972年から5年以内に導入すべく現在準備中である。

教育制度は小学校5年，中学3年，高校2年で，計10年が一般基礎教育過程で，満5才で入学資格ができる。

その次の段階に職業コースと大学進学コースがあり，職業コースは2年間のIntermediate Schoolをへて，各種の職業学校に入学し，3ヶ年の職業教育を受ける。一方大学進学コースはIntermediate Schoolの代りに，日本の旧制高校に相当するカレッジへ進学し，科学・技術関係3年，医学4年をへた後大学へ進む。大学は学士4年，修士6年で，イスラマバード大学，パンジャブ大学，シンド大学，カラチ大学，ベジャワール大学，農大，工大の7大学がある。

(ロ) 通常専門家の子弟が利用している教育機関

ハリプールのコロニーにはKinder Gardenという小学校があり，1～7年まで英語とウルドゥ語で授業を行っている。現地人の程度の高いクラスの子弟が入学しているが，日本人子弟の教育には不向きであり，自宅で両親が教育を行っている。

イスラマバードではアメリカンスクールが高校まであり，小

学校はブリティッシュスクールがある。大使館員の子弟はこれを利用してゐる。たゞこの場合国語（日本語）の教育を自宅で補う必要がある。

ハリプールから約24哩の距離にアボタバードがあり、こゝに高校までの男子総合学校がある。又イスラマバードから約39哩の所に世界的にも有名な避暑地マリーがあり、こゝに高校までの女子ミッションスクールがあるが、いずれも全寮制である。前専門家の子弟でこれを利用したものもいる。

(イ) 日本人小学校

カラチには日本人小学校があり、文部省教師が3名派遣されており、カラチ地区の日本人子弟の教育を行っている。年1回イスラマバード、ハリプールの日本人子弟のため1週間乃至10日程度出張してきてくれ、指導を行ってくれる。

(ニ) 授業料

現地系の学校の授業料は安く、Kinder Gardenでも月15ルピー程度である。

上記の外国系学校は次の通り。

学 校 種 別	授 業 料 (年)
アメリカンスクール	1,200～1,500アメリカドル
ブリティッシュスクール	700～800アメリカドル
アボタバードの学校マリー	2,500ルピー程度

(ホ) 日本語教科書類

出発前に下記に申込みば、無償で支給してくれる。又、通信教育もやっているのので、利用すると便利である。

海外子女教育振興財団 東京都千代田区永田町2-14-2
山王グランドビル2階

(c) 教材等

カラチやラホールでは子供用の顕微鏡など店頭にみかけるが、北部では一切ないと考えて用意して来た方がよい。

豊かな自然に恵まれているので、星座標や、植物検索図鑑、鳥類図鑑など役に立つ。

7 娯楽設備

(i) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

手軽な保養地としてハリプールより約24哩のところに山間都市で軍隊の町として発展しているアポタバードがある。ここには一部軍の練兵場と兼用の18ホールのゴルフ場もある。入会金は50ルピー、毎月30ルピー、ビジターなら1日10ルピーである。上等のホテルはないが夏の避暑地としても近くて安くて便利である。

有名な避暑地マリーはイスラマバードより、さらに39哩ほど入ったところにあり、海拔7,527呎で、ホテルも完備されていて、夏には内外の人で相当なにぎわいをみせる。

ゴルフ場は、イスラマバード、ラウルピンディにもそれぞれ一ヶ所ずつあるが、ボーリング場はない。映画館は数は多いが、英語の番組を常時上映しているものはラウルピンディで3ヶ所くらいである。映画は殆どカラーで、料金は最上のクラスでも4ルピーくらい。

(ii) 通常の余暇の過ごし方

イスラマバードでさえ催し物等は僅かしかないので、

ハリプールでは全くないと云ってもよい。

コロニー内には、サッカー、バスケット、テニス、バトミントン等の運動施設があり、又トランプ等を楽しむためのオフィサーズ・クラブもあるので、これらの施設を利用して、現地人と共に過すか、日本人どうしの相互訪問と云ったところである。

プールもラワルピンディのインタコンティネンタルホテルまで行かないと利用できない。

テレビ(白黒CCIR方式)は午後6時から4～5時間放映されている。英語の番組は少いが、毎日1～2時間程度はあるので、テレビを持参した方がよい。

一方、当国は、インダス文明、ガンダーラ美術発祥の地であり、ハリプールより30哩のところには有名なタキシール遺蹟がある。史蹟探訪とインダス上流峡谷への旅は、交通事情とホテル事情の悪いことさえ苦にしなければ、旅行好きの人、歴史に興味のある人には、あきることのない地方ではある。

従って、史蹟探訪と運動以外に外へ遊びに行くところはないと考えた方が賢明であり、ステレオ装置、レコード、娯楽用品、手芸用品、子供の遊び道具等娯楽面で自給体制を整えて来た方が安全である。又勉強用、娯楽用の書籍類もできるだけ数多く買い込んで来た方がよい。

(c) 日本人クラブ、スポーツクラブの有無、料金

日本人クラブはカラチにはあるが、イスラマバードにはない。

スポーツクラブとしては、イスラマバードに外交官を対象とした(外国人なら利用可能)イスラマバード・クラブがあり、テニスコート、プール、18ホールのゴルフコース、乗馬コース、それにレストランまで、設備のととのったものがあるが、

ハリプールからの利用は少し不便と思われる。入会金は1500ルピー、毎月基本料金として30ルピー、その他各施設の利用に応じて、テニスは21ルピー、プールは50ルピー、ゴルフは48ルピー、乗馬は250ルピーと毎月の基本料金に加算される。

8 電 力

電圧は230ボルト、50ヘルツ。

電圧変動は相当あり、160ボルトから250ボルト程度まで変動する。又、停電も時々あり、相当長時間に及ぶこともある。

なお、ハリプールの専門家の住宅には230ボルト対100ボルトの5kVAのトランスがあり、100ボルトのコンセントも設備されているので、日本の電気製品はそのまま使用できる。

9 交 通

(1) 交通事情

① 一般交通機関の発達度、種類

国際空港はカラチ、ラホール及びイスラマバードにある。主要国際線はカラチ経由となっているが、イスラマバードからの国際線もテヘラン、アムステルダム、北京等へと順次整備されつつある。

国内航空線も主要都市間に1日2往復程度運行されている。

鉄道は主要都市間を結んで大英帝国時代のものが引続き運行されているが、一部は電化されたものの、単線のため、特急でもカラチ、ラワルピンディ間26時間を要する。又この列車には食堂車、空調のある2人又は4人用のコンパートメ

ントのある特別車が連結されている。ラワルピンディ、ハリプール間の鉄道は1日4往復、1時間半から2時間の所要時間である。

その他、地方都市間の交通機関はバスであるが、事故も多く、不衛生である。しかし料金は非常に安く、ハリプールとラワルピンディ間2ルピーである。

② 道路事情

ハイウェイはないが、主要都市間の道路並びに地方都市の道路もほとんど舗装されている。たゞいわゆる簡易舗装のため、破損が激しく、主要道路は補修のための道路工事を行っている箇所が多い。

③ 特に注意すべき交通法規

左側通行である。又、駐車の手締りはない。

こちらが交通法規を守っていても、相手方の法規無視の運転が多いので、注意が必要である。車検の制度がなく、ストップランプ、ウインカーランプの動作しない車がほとんどであり、夜間はヘッドライトを片側だけつけて飛ばしてくるバスやトラックがあるので注意が必要である。

④ 事故の取扱い

交通事故発生の場合は、もよりの警察署に届出て、現場検証をしてもらう。又、保険会社へは警察署の書類を添付して届出ることになっている。

⑤ 事故補償

保険制度は自動車損害賠償保険の制度がある。保険料は年間800から1,000ルピー程度である。補償額については当事者間の示談によるが、概して人命より自動車等物件の方

が高価である。

(ロ) タクシー、ハイヤーの利用，料金

主要都市には流しのメータ付タクシーがあるが、車も相当古く概して不衛生である。料金は1哩につき60パイサ、観光地等では不当な料金を請求するタクシーもあるので注意が必要。

ハイヤーは一流ホテルの受付に申込みと利用できる。1時間12ルピー程度で、これは新しい車で清潔である。ただし、ハイヤーのことを一般にレンタカーと云っている。

なお、現地人がタクシー代りに主要都市においても利用しているトンガーという二輪馬車が数多くある。

(イ) レンタカー

都市においても無い。

(三) 自動車購入

① 購入方法，融資方法

パキスタンでの購入は困難であるから、専門家は赴任前にできるだけ早く日本で発注しておく必要がある。発注ができれば長い間自動車なしで不便な目に合う。色は白系統が無難であり、できれば前進4段がよい。部品も不足がちで高値であるから、整備の時使用するもの等は最初に輸入しておく方がよい。前任者がいる場合は、専門家相互間で自動車の譲渡ができる。

従って、融資を受けるのなら、日本で東京銀行から受けるのが便利である。

② 免税輸入特権について

赴任後6ヶ月以内に輸入の場合（現物がカラチの税関に到着する必要あり）専門家1家族1台の無税の特権がある。

③ 帰国時の売却方法

自動車購入より3年未満の場合は専門家等免税輸入特権を持っている人にもみ売却可能であり、3年後は一般パキスタン人にも税金全額（中型車でCIF価格の110%）を支払って売却可能、5年後は一般人に無税で売却できる。

従って、5年以内で帰国する場合は、後任の専門家があれば引継いで使用してもらえれば便利である。

なお、これらの諸手続きを行う上には免税輸入時の税関の認可書類一式が必要であるので注意。

(ホ) 運転免許

① 国際免許証の有効性

パキスタンでは有効ではないが、国際免許証を陸運事務所へ提出すれば無試験で国内の免許証を発行してくれる。1年毎の更新である。

② 免許取得の方法、経費等

陸運事務所へ申請書を提出すると、先ず6週間の仮免許を発行してくれるので、その間に学科試験を受けてパスし、次に簡単な実地試験にパスすれば本免許を取得できる。費用は50ルピーである。

(ヘ) ガソリン代

1ガロン当り6.65ルピー（ハイオクタン）

10 為 替

(イ) 相 場

公定は1アメリカドル=9.9ルピー

実勢は+1%位である。

(ロ) 対日送金

パキスタンからは不可能

(ハ) 滞在費等の受取方法

東京銀行ニューヨーク支店に日本からドルで送金してもらい、その銀行のパーソナルチェックで東京銀行カラチ支店に依頼して現地通貨に替えてもらい、ナショナルバンクオブパキスタン等のパキスタンの銀行口座に払込んでもらっている。このため、手続きに約1週間は必要である。又、東京銀行ニューヨーク支店の小切手でイスラマバード銀行では現地通貨にその場で替えてくれる銀行もある。

11 出入国管理

(イ) 税関検査

① 一般事情

外国製品、特にラジオ、テープレコーダー等の電気製品に対する検査はきびしい方であるが、専門家に対しては一般に寛大である。

② 持込禁止品

特にない。

③ 入国に際しての注意事項

別送荷物のある場合は、航空便、船便とも、自動車、電気製品等細かくすべて申告しておかないと、荷物到着の際、持込めなくなるので注意が必要である。なお、ハリプール、イスラマバードへ赴任の時は別送航空荷物をイスラマバード空港あつかいにしておく方が早く到着するし、受け取りにも便利である。

外貨は申告を必要とする。

④ 持出し禁止品

パキスタン通貨20ルピー以上、又、外貨は入国時の申告額以上の持出しは禁止されている。

(ロ) 外人登録の有無

1ヶ月以上滞在するときは外人登録が必要である。ハリプールに居住する場合はアボタバードの外人登録所へ勤務先の勤務証明書とパスポート、写真2枚を提出し手続きを行うと1年間有効の証明書を発行してくれる。

(ハ) ビザの更新手続

外人登録を行ってあれば、ビザは入国の際に許可された滞在期間を過ぎても更新の必要はない。ただ、国外へ出張等の場合は再入国のために必要であるから、事前にパスポート管理所で入手する必要がある。

12 便宜供与

(イ) 便宜供与の種類

① 住宅手当等の現金供与

A₁フォームに従い、滞在費として日額25ルピーの供与があるが、住宅の無償供与のある場合は支給されない。

② 出張旅費、公用車の提供、ガソリン代の支給の有無。

A₁フォームに従い、出張旅費が支給される。日当は12.5ルピーである。公用出張の場合には公用車の提供を受けることができるが、ガソリン代の支給はない。

③ その他

ハリプールの専門家には住宅と若干の家具が提供されてい

る。(くわしくは住宅の項参照) 家具, カーペット等は最初に供与されて以来取替えが行われていないので相当痛んでいる状況である。

(ロ) カウンターパート, 通訳

ハリプールの電気通信研究センターの場合DE (Divisional Engineer)がカウンターパートである。

スーパーバイザー(技術員)以上は英語が達者であるから, 特に通訳の必要はないが, 日本語のできる通訳は全くいない。

(ハ) 免税特権

酒, タバコ, 食料品, その他日常雑貨品については, 赴任後6ヶ月間毎に2,800ルピーを限度として無税輸入が認められている。

入国後6ヶ月以内に一家族当り自動車1台を含め, 生活必需品(ステレオ, テレビ, クーラー, 冷蔵庫等)を引越し荷物として無税で持込める。

13 通信, 運輸

(イ) 郵便事情

① 安全性, 配達システム

婦人雑誌のようなものは途中で紛失することが多い。書留にすれば一応の安全性は確保される。

外国からの小包郵便は税関で検査された後, 内容の一部が紛失することがある。

配達は戸別配達で, ハリプールでは1日1回である。小包等重量の重いものは局へ受け取りに行く。

② 電報，電話サービス

電報の受付および配達は英語で行われている。時間が非常にかかるので，急ぎの時には間に合わないこともある。

電話は誤接が多く，通話品質も概して悪い。

なお，ハリプールでは専門家にオフィスと住宅に電話が供与されているが，アドバイザー以外は市外線不足のためダイヤル市外通話が制限されている。

③ 手紙，電報の日本，現地間の所要日数

手紙は東京，ハリプール間航空便で日本からは5,6日間，パキスタンからは7,8日間，電報は48時間以内で届く。なお，ローマ字の日本語で打つことができる。

④ 主要地方都市との連絡方法

主要都市間の電話はダイヤル即時式となっているが回線数が少ないので，中々接続できない。繁忙時には30分もダイヤルを廻していても接続できないこともある。

電報も主要都市間は遅くても，8時間で到着するが，ハリプールの様な地方の町へは24時間以上もかゝるので，急ぎの用には役立たないことが多い。

(ロ) 運 送

① 陸送，海送業者の有無，料金

両者共にある。チャイニーズパッカーズという業者が有名である。料金は1972年で次の通りである。

梱 包 費	1 立方呎当り	5 ルピー
陸送及び出荷手続費	100 lbs 当り	15 ルピー
	(ハリプールよりカラチまで)	
海送費(カラチー日本)	270\$ (例 231 立方呎， 2310 lbs gross)	

② 家財送付上の手続き、宛名注意事項

宛名は任国機関気付専門家宛とするのが良い。

なお、荷物の取扱いが乱暴であるので、数多く小さく荷造りするより、1つにまとめて大きく荷造りをした方が破損の危険が少ない。

14 言 語

(イ) 公用語、英語その他第1外国語の普及度

公用語は今のところ英語である。15年以内に国語のウルドゥ語に変更される予定である。

従って、高校以上の学歴を持つ人は英語が達者である。主要都市の商人、召使い達の多くが片言の英語を話す。しかし地方へ行けば、英語も全く通じなくなるので、全体の普及率で云えば5%以下である。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

都市に勤務する場合は英語で十分である。

たゞ、地方に勤務して学歴の低い連中と接する機会の多いことが予想される場合は現地語のウルドゥ語を習得していれば便利ではある。

(ハ) 語学学習の施設、受講時間等

施設はないが、ハリプールでも個人教授でウルドゥ語の学習は受けることができる。

15 気 候

(イ) 年間を通じての気候

イスラマバード、並びにハリプール地区は北緯33度半であ

るから、だいたい福岡と同じ緯度となるが、海から1,000哩も入った内陸地であるため、一口で云えば乾燥大陸型の気候である。また、カラチと当地との間にはインダス流域の大部分が砂漠であるということもあって、夏の暑さは相当のものであり、4月末から10月初めまでがクーラーの必要な時期となる。特に6月、7月は連続的に40℃以上の高温が続き、湿度は数%程度となって野の草花も仮死状態となり、蚊や蠅も姿を消してしまう。

45℃にもなる日が数回あるが、そんな日は煉瓦造りの家全体が焼けてしまっていて、夜になっても冷えず、クーラーの連続運転でやっと眠ることができる。

一口に45℃と云っても実感が出ないので具体的に云ってみると、他人が今まで座っていた椅子に腰掛けると「ひやっと」するが、置いてあった椅子に座ると「むうっと」する。自動車の窓を開けて走ると外からの熱風であつく窓を閉めて走った方が良い。こういう時の湿度は数%であるので、すべてのものがカラカラになってしまい、日本では海苔やせんべい等を缶から出しておくと湿って味が落ちるが、パキスタンでは外に出しておくと乾いて、香りが飛んでしまい、パサパサのものになってしまう。又、暑いからと庭に打ち水をするとあっと云う間に乾いて湿度が上って却ってむしろ暑くなると云った状態である。

8月に入ると猛烈な熱風のサンドストームが吹き、ものゝ30分もすると豪雨という雨期に入り、湿度は上るが気温は下って、大分凌ぎ易くなる。この8月、9月は日本の夏と似ているのでクーラーが良くきくようになる。

しかし、この雨期と乾期の変り目に雨が降らず、高温のまゝ

湿度だけ上昇する時期が約半月程あり、一日中もやが立ちこめて地平線上はぼうっと霞んで近くの丘陵も何もみえなくなり、一方頭上は青空で太陽がさんさんとてりつけるという最悪の事態となる。太陽が西に沈む頃には白い太陽を肉眼で見ることができ、太陽黒点がはっきり見えたりする。

冬は11月末から3月初めまでで、日中晴れていれば外は結構快適であるが、家の中は部屋が大きく煉瓦造りであるから、冷え冷えとしており、夜は屋内でも相当冷え込む。又、日中でも曇りの日や雨の日は相当に冷え込むので、服装も暖房も日本の冬なみのものが必要である。

遠くの山々は真白に雪におゝわれ、すぐ近くの丘陵にも頂上は積雪がみられる。たゞ、この時期に冷たい季節風が吹くことがないので助かる。

(ロ) 健康管理上の注意事項

春秋の季節の変わり目が非常に短かく、かつその時期は昼夜の寒暖の差が非常に激しいので、風邪を引かないよう注意が必要である。現地人は一般に栄養状態が悪いこともあってか、秋に風邪を引くと冬中引いている人が多い。又、非常に乾燥するので夏でも風邪を引きやすく、なおりにくい。

しかし、日本で心配する程伝染病の恐怖にさらされるようなこともないし、マラリヤも少いが(カラチ地区は多い)高温のときは体力の消耗が烈しいので、夜ふかし等はしないよう注意し、毎日1時間程の昼寝をした方がよい。又、オールドバザール等人混みにはできるだけ近寄らない方が、伝染病の予防から云ってベターである。

16 治 安

(イ) 一般情勢

バングラディッシュの独立宣言後、パキスタンの内政は少数民族の独立運動激化、新憲法制定をめぐって野党の態度硬化などで混乱が続いていたが、1973年4月12日ともかくも新憲法が制定され、ブット大統領のひきいる与党の人民党とブット氏の強大な権限が一応形の上では確立した。

しかし、バルチスタン州と北西辺境州を地盤とする民族アワミ党などの野党は、ブット氏の強大な権限を縮小させ、州の自治権拡大を求めて新憲法の審議をボイコットしたこともあって、政情は必ずしも安定しているとは云えないが、経済面でも印パ戦争の敗戦という手ひどい打撃から予想以上に早い回復をとげつつあり、外貨保有高も増加している。

いろいろと根の深い問題はあるが、現在のところ表面上の治安は確保されている。

(ロ) 夜間外出上の注意

グランドトランクロード等主要道路でも時折自動車強盗があり、夜間外出はできるだけさけた方が安全である。ハリプールではコロニー外への夜間外出はさけた方が良いと現地人の間でも云われている。

① 禁示令の有無

1972年7月カラチ地区に起った言語問題の暴動の時はカラチ市内で1週間以上の夜間外出禁止令が出る等、治安の状況に応じて夜間外出禁止令が施行されることもある。

(ハ) 緊急時における大使館との連絡方法

緊急時にはハリプール在住者は電話で連絡をとり、大使館の

指示をおおぐことになっている。

17 その他

(1) 対日感情，現地人気質

① 対日感情

パキスタン人の最も親しさを感じている国は，中国であろう。それは，宿敵印度を背後からつついて脅威を与えたり，50年返還無利子と云う好条件でクレジットを供与し，また，事務用品，日用品，自転車，工具類，蛍光灯のような製品を，すごく安い値段で売ってくれるからだろう。

そのつぎに，親近感をもっている国は，日本とドイツであり，英国に対しては，昔の領主国の名残りがあのか，未だに畏敬の念をもって接している。アメリカに対しては，毎年莫大な援助を受けながら，いつも大きな反感をもっている。

彼等の日本人に対する態度は，極めて友好的であり，尊敬の念をもって接してくれる。その第一の理由は，彼等が白人の支配下から逃れようと長年無為の努力を続けて達し得られなかったが，第二次大戦によって，日本とドイツがアジア，アフリカの諸国に対し，国家独立の機会を与えてくれたこと。従って，日本は彼等とは友好国である，と云う感情である。第二の理由は，戦後の廃虚の中から20年足らずの短い年月のうちに，経済大国となり，工業国或いは貿易国として世界をリードしている日本人に対するあこがれ，そして，民族の顔色も似ている同じアジア人に対する親近感，よって起る不可思議な興味である。第三の理由は，彼等の最友好国である中国と日本が国交を回復したこと等が考えられるであろう。

しかし、日本に留学した人とか、訪日したことのある人とか、ごく一部の人々を除いては、日本に対して、ぼくぜんとした認識しか持っていないことも事実であり、また、日本の電気製品、自動車等の性能の優秀さを体験によって認めておる人も一部である。してみると、政治的な背景とか国際情勢の認識の外におかれている一般大衆の友情、親切心は、“特別の憎しみが無い限り、他人に対して親切にする”と云う宗教的国民性から来るのかも知れない。いずれにしても、日本人に対して、親愛の念を持っていることは明らかである。

② 現地人気質

上層知識階級は、イギリス的教養を身につけることを誇りとしており、イギリスの植民地政策時代の官僚特権意識が忘れられず、下層階級を牛馬と同一視して多くの使用人を顎で使うことが一つの権力の象徴と思っている。そのくせ仕事に対する責任感に欠け、縄張り根性と自我意識が強く、チームワーク作業を欲しない。成功は自分のものとし、失敗は、その原因を他に押しつける傾向が特に強い。一度握った特権は、なかなか手離なそうとせず、仕事上の責任者が休む場合でも、その代行者を決めないで、全体の仕事がストップしてしまうことがしばしばある。

一方下層労働者階級は、宗教上の戒律を厳しく守り、宗教的行事が仕事に優先する。命令された仕事以外は決してしない。その仕事振りも、歯がゆい程スローである。上層階級に対しては、常に支配されているので、内に反抗心をもっているが、表面は非常に従順である。

一般に勤労意欲は低く、より良くなるために働こうとした

り、自ら考えて仕事を工夫し、向上しようとする気は少ない。

一方、長所として、回教の聖典の教えを守り、特別の憎しみが無い限り、非常に柔和で友情関係が厚い。また、人の面倒見も良く、お人好が多い。外国人に対しては特に親切で、広い野原の道路上で自動車が故障して困っていると、どこからともなく人々が現われて、助けてくれる。身なりは大変お粗末ながら、回教の教えに従った心の清らかな人間が多く、親しみの持てる国である。

しかし、宗教に対する強い信仰心は、食生活の改善、近代社会化を阻み、そして自らの努力によって生活の向上を計ろうとせず、持てる者からの恵みを受けることを当然と考えている。この事は、経済、技術援助の面にも現われており、現状では、自力独歩の方向は、望み得ない。将来、もっと教育が普及し、パキスタン人が現代科学を十分理解し、回教の教えとの間の矛盾を認知、克服し得たとき始めて、近代国家の仲間入りができるのではないかと考えられる。

(四) 新聞、雑誌等

① 日本よりの購読方法

新聞は、海外新聞普及KKカラチ支店に依頼すると送ってくれるが、日本で手続された方が便利である。(海外新聞普及KK東京都港区芝浦2丁目9, 〒108)

また、雑誌等の購読は、出発前に、日本で手続される方がよい。ただし、雑誌の付録は、途中で紛失することがある。

② 日本語雑誌等の販売店の有無

イスラマバードにもカラチにもない。

㊦) 風俗, 習慣

① 特に禁じられている風俗, 習慣

コーラン(回教の聖典)の教えに従い豚肉は不浄の肉として絶対に食べない。また, ドンキーの肉, イカ, タコのようなグロテスクな形をしたもの, アルコール類は, 口にしない。未だに女性隔離の習慣が根強く残っており, 上層階級の一部の人を除き, 女性は夫以外の男性には顔を見せない。葬式は必ず土葬で行なわれ, 決して火葬にはしない。回教徒は, 右手は神の手, 左手は不浄の手として, 食事は必ず右手のみで食べる。

② 一般の風俗, 食習慣

貧富の差がはげしく, 高額所得者が大邸宅に住んでいるかと思えば, 一般労働者は, 泥の家で馬糞の乾燥したものを燃料として細々と生活している。また, 土穴生活も所々に散見する。遊牧民は, 牧草を追って, 荒野に破れ天幕を張り, いつの間にか, 何処かへ移動して行く。

貧困にあえぐ一般民衆は, 文明の恩恵にも浴さず, 回教の教えによって, ようやく生きていと云った感じで, 持てる者が貧しいものに恵み, 貧しき者は, 富める者から何の抵抗もなく援助を受け, 神に感謝し, その人に感謝する理念は少ない。

知識階級は, 一夫一婦の普通の生活をしているが, 上層階級や下層階級で金の都合のつく人は, 二婦や三婦をかかえている者が多い。大家族主義で肉親の情は厚い。

上層階級の婦人などはサリーなど美しい着物を着るが, 一般には非常に質素なものを着ており, 冬の寒い時期には頭に

木綿を巻きつけ、身体は毛布のようなものをまとうだけのあわれな生活を送っている人が多い。

食生活として、主食は、チャパティー、時には米も食べる。副食として、特有の辛い香料を使ったカレーを多く食し、これに、牛、羊、鶏の何れかの肉と野菜を入れる。もっとも、貧しい人の場合には、お祭のとき位しか肉類は入らないのかも知れない。油は椰子油を使う。

日常生活においては、一部の上層知識階級を除き、男女の差別は厳しく、女性はブルガと呼ばれる白または、黒一色でできた布を頭からすっぽりかぶり、顔を他人に見せないし、客を招待しても男女別々の部屋に通され、別々に食事をする。男客に対しては、男主人または、男の子が配膳したり、サービスをする。結婚式も一般には招待客は、男女別々で、男性は花嫁さんの顔を見ることは許されない。このように女性隔離の習慣が厳しいので、特に許しを得た場合を除き、女性にカメラを向けることは大変危険である。宗教心の強い人の中には、男女の写真を家の中におくことを好まない人がいる。

回教徒の男の子は、2～4才の時期に必ず割礼が行われる。

大抵の男は大人になるとロヒゲを蓄え、頭髪と顔髭を除く他の毛は、毎日奇麗に剃っている。また、用便のあとは、紙を使わず水で清める習慣がある。日常の挨拶は親しみをこめて、必ず握手をする。

パキスタン人の日常生活のリズムは、日の出、日の入りが基準となって、1日5回メッカに向ってお祈りをする。その時刻は、寺院からスピーカーで知らされ、特に、金曜日は、公式の集団礼拝日とされ、勤務は半どんである（土曜日は平

常勤務)。

このように、パキスタン人の風俗、習慣は、殆ど回教の教えに従っており、それを知らない外国人が見ると全く馬鹿げた風習が残っていると感じられるが、彼等は全く真面目に、それを実行しており、人口の96%以上が回教徒であることを考え合わせるならば、回教を理解せずに、パキスタンを理解することは、困難であるし、ましてや、その土地に住む場合にはなおさらである。

③ チ ッ プ

空港のポータには、荷物の数量にもよるが、1人につき1ルピー程度。タクシーは、チップ不要である。ホテルやレストランでは、普通、サービス料込みになっているので、勘定書に対しては、チップ不要である。サービス料が含まれていない時は、勘定書の10%以下。ホテル・ポータには1ルピー、ホテル・ボーイに食事を部屋に運ばせた時でも1ルピー程度でよい。この国では、チップを期待する傾向が強いので、50パイサ貨、1ルピー紙幣の用意が便利である。

④ 専門家としての体面

途上国でも指導的立場の人々は、世界を広くみており、専門家は、いつも世界の最高レベルの人と比較されていると云う認識と、日本という国の代表者であると云う自覚の上に立って、すべてを処したら良い。その他は、取りたてる程のことはないが、この国は、服装、外見によって地位を判断する習慣があるので、外出時には、服装をきちんとした方がよい。また、人の前では、下級作業をしない方がよい。

(二) 理髪店、美容院、クリーニング店

① 衛生度等

(i) 理髪店

一流ホテルにある店の衛生度は可なるも、市中の店是一般に低い。ハリプールでは頼むと理髪師が、いつでも、すぐに自宅まで出張してくる。身体の中に毛が這入ったり、仕上りも不満足ではあるが、安いし、便利である。

(ii) 美容院

イスラマバードとラワルピンディにはあるが、ハリプールにはない。衛生度は可。

(iii) クリーニング店

都市にある店の衛生度は概して可なるも、仕上りは、時々不満足なことがある。上物は注意された方がよい。ハリプールにある店は、衛生度、仕上り、料金ともに低いが、近くて、早いし、普段着程度なら我慢できる。

② 料 金

(i) 理髪(散髪)	2.5	~	5	ルピー
(ii) 美容(パーマ)	120	~	180	ルピー
(iii) クリーニング	ドライクリーニング		プレス	
ワイシャツ	2.50	ルピー		1.25ルピー
ズボン	3.00			1.50
背広上下	6.00			3.50
ブラウス	2.00			1.25
スカート	3.00			2.00
スラックス	3.00			2.00
ブルオーバー	3.00			1.50

サリ	—	5.00ルピー	3.00ルピー
オーバーコート		6.00	4.00

(ホ) 買 物

① 店の規模，種類

パキスタンには，百貨店はない。イスラマバードとラワルピンディには，スーパーマーケットがある。町には商店街が並び，野菜や果物を売る露天商も多い。ラワルピンディのオールド・バザール（市場）では，大体，商品別に商店が集合している。

② 値 引

土産物品等は，正札の付いている店は別として，20～30%の値引をするのが普通である。その他のものの値引は殆どしない。

(ハ) 今後赴任される専門家に対するアドバイス等

- ① 殆どのパキスタン人が回教徒であり，彼等は聖典の教えを守り，日常生活もこれによって律せられて居るので，この土地に住み，彼等と接触する以上，専門家は，その宗教に理解を示し，協力することが必要である。特に，ラマザン（断食の月）の場合は，1ヵ月間も辛い断食を行っているので，彼等の面前で，飲食，喫茶，喫煙することは，慎むべきである。
- ② 宗教を批判することは敵に慎むべきであるが，政治問題にも余り口を出さない方が無難である。
- ③ 気候，風土，習慣など，すべて異なった開発途上国に長い期間住んで，技術協力を続けるには，常に己に打ち勝ち，相手に対しては，寛容と忍耐で接し，Slow but Steadyに処す

ることが肝要である。提起された問題には、例え時間を掛けても、確実な誠意ある解答を与えることが、彼等から信頼を得る道であると信ずる。

一般に技術者は、能力が低く、経験も乏しいので、問題意識を持っている人が少ない。そのような彼等を指導するためには、納得のゆく説明と問題意識の動機づけを行ないながら、うちから働く意欲を盛りあげ、彼等自身の力で動き続けるまで、根気強く、見守るべきであろう。即ち、彼等の国民性からくる物の考え方とか仕事のペースは、余程の不都合があっても、急に変えることをせず、基本的には是認する心掛けが必要であろう。

- ④ 階層による差別扱いの厳しいお国柄であるが、なめられない程度に、気持の上では、平等に接した方がよい。また、職場内外で広く交友を持つよう心掛けた方がよい。一般にパキスタン人は、親切で面倒見はよいが、利害がからむ場合が多いので、特定の人とだけの深い交際は、避けた方が無難である。
- ⑤ 無暗にスタッフ等を自宅やレストランに招待しない方がよい。後で色々な機会にその期待を持たれるし、後任の人にも迷惑がかかる。また、私的に労働を受けた場合も過度のチップは、避けた方がよい。
- ⑥ 退庁時間は正確であり、超過勤務の習慣がないので、部屋の戸締りをする人に迷惑を掛けないように、特別の事がない限り、速かに退庁した方がよい。
- ⑦ 公用語である英語の普及率は5%程度であるが、専門家の出入りする所では、大抵英語が通ずるので、買物などでは、

左程の支障はない。けれども、外出して、道を聞いたり、バスの行先を尋ねたりする場合には、ウルドゥ語を多少知っていないと話が通じない。従って、簡単なウルドゥ語位は、覚えるように心掛けた方がよい。

- ⑧ 専門家並びにその家族の生活必需品の持込みは、入国後 6 カ月以内は、無税であるが、それ以外は、限度内の免税特権（12. (ウ)項参照）しか認められていないので、何謂引越荷物として、できる限りの必需品（1 (イ), 2 (イ), 3 (イ)③項参照）を持込むことをお勧めする。特に、携行をお勧めしたい物品を抽出すると、つぎのとおりである。
- (i) 開発途上国で働く専門家にとっては、自動車は不可欠のものであり、特に、電気通信研究センターのあるハリプールは、首都イスラマバードからは、55 哩も離れているので、公私ともに自動車は必需品である。
 - (ii) 当国は太陽熱が豊富なので、このエネルギーを入浴用の温水に利用するため、太陽熱温水器の持参が重宝である。
 - (iii) 肉、魚等の冷凍品を買出しする場合には、アイスボックスが必要である。アイスノンもお忘れなく。また、アイスノンは長時間の停電が時々あるので、冷凍庫、冷蔵庫に対して一時しのぎにも役立ち、水枕としても使用できるので重宝である。
 - (iv) 充電式懐中電灯は非常に有用である。AC 230V 用をお勧めする。
 - (v) 娯楽施設（7 項参照）が少なく、余暇の利用に苦心するので、自分の趣味に合った娯楽用品の携行をお勧めする。
 - (vi) 保存のきく日本食は、できるだけ多く持参すること。

- ⑨ 日本から食料品，日用品等をコロombo・プラン専門家宛に発送する場合は，免税通関の恩典があるので，宛先に，Colombo Plan Expertを必ず明記すること。
- ⑩ 赴任後は，外人登録，自動車運転免許証の書換え，更新は必ず実施すること。自動車運転免許証については，赴任前，日本で国際自動車運転免許証の交付を受け，持参すること。

II 同国に対する我国の技術協力実績

昭和47年12月31日現在

形 態	区 分	農 水 産	建 設	鉱 業	運 輸	通 信	厚 生	行 政	そ の 他	累 計 (人)	経 費		
											(千円)	(千米ドル)	
研修員受入		100	29	185	40	85	31	62	81	614	240905	672	
専門家派遣		98	84	76	17	64		18	11	368	637767	1805	
セ ン タ ー	名 称	業 務 内 容					期 間	要員数					
	東パキスタン農 業訓練センター	農業機械に関する技術者 の養成、政府職員及び農 民の訓練					35.7 ~40.7 40.11 ~42.12	13		335389		932	
	電気通信研究セ ンター	通信サービスを経済的に 向上させるための実用化 研究、技術導入の指導					38.11 ~44.4 そのほかCP で継続指 導中	12		335389		932	
農 業 協 力	名 称	内 容					期 間	団員数					
	農業開発基礎調 査	稲作開発、農業技術普及 方策など東パキスタンの 農業開発計画のための基 礎調査					45.8 } 45.9	6		4736		13	
開 発 調 査	西パキスタン農 業事情調査	グラムモハメット附近の 土地5,000エーカーの 立地条件、灌漑、排水、 適種農作物の選定等の調 査					33.1.14 } 33.2.6	3		924		3	
	東パキスタン橋 梁パラジダム 建設計画調査	メグナグムチイ橋梁架設 計画、クルナ地域のポン プによる灌漑、雨期の洪 水調整のための調査					34.12.23 } 35.2.9	5		3613		10	
	東パキスタン橋 梁架設計画調査	ダッカ、チャッタゴン、ク ルナ諸都市周辺に橋梁を 架設するための調査					37.2.22 } 37.3.24	5		2593		7	

	名 称	調 査 内 容	期 間	団 員 数	(千円)	(千米ドル)
開	東南アジアデル タ調査 (台湾, タイ, ビルマインド)	当該国の主要なデルタ地 域について, 灌溉, 排水 を中心に農業事情調査を 行ない開発の方向を検討	37. 11 } 38. 2	3	3031	8
	タイ・パキスタ ン木材利用工業 開発計画調査	タイ・パキスタンにおけ る未利用の森林資源の開 発方法及び木材利用工業 の開発の可能性について 調査	38. 12 } 39. 2	5	5786	16
発	ダッカ・ブリガ ン河橋架設計 画調査	東パキスタン首都ダッカ 市の南を流れるブリガン 河の橋架設計画	39. 2 } 39. 5	10	15480	43
	東西パキスタン 海底ケーブル計 画調査	東西パキスタン間の電気 通信の改善手段として, 海底ケーブル敷設計画に 関してケーブル建設に必 要な陸揚地の選定等の調 査	39. 9 } 39. 11	8	6223	17
調 査	中小工業開発計 画調査	機械金属工業を中心とし た中小規模工業に関する 基礎調査	39. 10 } 39. 11	6	5236	15
	マイクロウェー ブ網建設計画調 査	西パキスタンのカラチ, サッカールラワルビンデ ィ, ベンジャールを結ぶ マイクロウェーブ建設計 画の基礎調査	39. 11 } 40. 1	6	6522	18
	チタゴン・カル ナフリ河橋架架 設計画調査	東パキスタンのカルナフ リ河橋架架設計画の調査 を行なって予備設計, 工 事費の積算等によるフィ ジビリティレポート作成	40. 1 } 40. 4	10	15854	44

	名 称	調 査 内 容	期 間	団 員 数	(千円)	(千米ドル)
開	ダッカ都市計画 調査	ダッカ市のプリガン河南 岸地域を中心とする都市 計画に関し、調査を行な い、予備設計報告書作成	41. 1	12	14,338	40
			41. 9			
発	ゴライ架橋計画 調査 (第1, 第2)	東パキスタンの第2次5 カ年計画の一環でもある ゴライ河架橋計画に関し 基礎調査, 第一次調査に 引続きマルカリ地区の地 盤及び土質試験	41. 3	8	28,779	80
			41. 5			
			41. 8	3		
			41. 12			
42. 2	11					
調	海外中小規模工 業経済協力調査	工業の現状ならびに経済 的, 社会的諸条件を調査 し中小規模工業育成上の 問題点を把握しようとし るものである	42.10.1	6	4,848	14
			42.10.22			
査	テレビジョン放 送網建設計画調 査	同国の主要都市における テレビジョン放送所の位 置決定及びこれら都市間 の中継方式, 中継所の位 置決定に必要な実地調査	42. 10	8	13,989	39
			43. 2			
査	カルナフリ水力 発電計画基礎調 査	東パキスタン東南部に位 置するカルナフリ水力発 電所の貯水を再利用して 第2発電所を増設する計 画につき基礎調査	42. 10	4	5,181	14
			43. 2			
			44. 8	3		
			44. 9			
路建設計画調査	ジソール〜ファ リドプールの間道 調査を行ない予備設計報 告書の作成	43. 11	12	12,711	35	
		44. 2				

	名 称	調 査 内 容	期 間	団 員 数	(千円)	(千米ドル)
開	カルナフリ水力 発電計画調査	貯水容量、労時電力等の 確認、発電所増設計画の 技術的経済的な検討	44. 8	3	10289	29
			{			
			44. 9			
開	ダッカ〜ファリ ドプール道路計 画調査	アジアハイウェイ号線 の東パキスタン川南西部 ダッカ〜ファリドプール 間の道路建設計画基礎調 査	45. 2	6	12,069	34
			{			
			45. 3			
			45. 10	4		
{						
45. 11.						
開	イスラマバッド 上水道計画調査	既設上水道は断水、河過 施設等が充分でないので 改良及び拡張計画の策定	45. 2	8	26850	75
			{			
			45. 4			
			45. 8	3		
			45. 9			
発	港湾関係事前調 査 (マレーシア)	マレーシア、クワンタン 港および、パキスタン・ フィティクreek港の建 設計画調査実施のための 事前調査	45. 6	3	3,616	10
			{			
			45. 7			
調	フィティクreek 港建設計画調 査	フィティクreek港建設 計画のため、フィティク reek。カラチおよびリ ンミアニの各地における 現場踏査	46. 1	8	12,108	34
			{			
			46. 2			
査	イスラマバッド 水道漏水防止対 策調査	イスラマバッド市上水道 改善計画の緊急措置とし て既存上水道の漏水防止 対策のための調査	46. 1	7	11,051	31
			{			
			46. 3			
査	鉱物資源開発計 画調査	西パキスタンのチャガイ 北東部ケッタおよびカラ ット地域、デラ・イスマ ン・カーンおよびベシャ ワール地域、チトラール	46. 2	3	4,498	36
			{			
			46. 3			

	名 称	調 査 内 容	期 間	団 員 数	(千円)	(千米ドル)
		地域の鉱物資源開発可能性の調査				
機 材 供 与	機 材 名	供 与 先 機 関	年 度	数 量		
	テレビ受像機	情 報 省	39	100台	4976	14
	技術学校繊維科 機材	カラチポリテクニクイ ンステチュート	39	1 式	4,670	13
	農 機 具	農 業 省	42	1 式	4,288	12
	染色、捺染用機 材	E P S I C	44	1 式	2,293	6
	水道漏水対策用 機材	首都開発庁	45		19,326	54
	胸部外科用機材	シノウ大学院メディカル センター	45		1,065	3

Ⅲ 大使館等連絡先

① 日本大使館（イスラマバード）

住所 Embassy of Japan in Pakistan,
Plot Nos. 53-70, Ramna 5/4,
Diplomatic Enclave 1, Islamabad.

電話 Islamabad 20181 ~ 20184

執務時間 月曜日～土曜日 8.30 a.m.- 2.00 p.m.

金曜日 8.30 a.m.- 1.30 p.m.

執務時間 Islamabad 20181
外電話

② 日本総領事館（カラチ）

住所 Consulate General of Japan in Pakistan,
Fatima Jinnah Road,
Civil Lines, Karachi - 4.

電話 Karachi 511331, 511332

